

乗務員教育 効果確認シート

2025年度(令和7年度) 1月
2026年(令和8年) 1月

| | | | | | | |
|----|--|-----|----|---|---|---|
| 氏名 | | 実施日 | 令和 | 年 | 月 | 日 |
|----|--|-----|----|---|---|---|

1 交通事故の要因に関する下の文の空欄に入る語の記号を下枠内から選んでください。

- 興奮状態になると、急激に（ ）が狭くなり、目の前のものに集中してしまうため事故を起こしやすくなります。
- 慢性的な（ ）は、運転中に必要な緊張感を維持しにくくし、結果として事故につながりやすくなります。
- 経験によって生じる「慣れ」は、安全な運転に必要な（ ）を薄れさせることがあります。
- 薬には副作用を伴うものがあり、自覚がないまま能力が（ ）することもあるので注意が必要です。

①肩身 ②視野 ③疲労 ④暴飲暴食 ⑤緊張感 ⑥職業ドライバー ⑦低下 ⑧上昇

2 大型車に乗っていると仮定して、次の場面で最も適切な安全確認を、A～Cからそれぞれ選んで○をつけてください。

- 発進前、フロントミラーには何も映っていないが、停車中に通園中の親子が近くにいたことを思い出した。
A. ミラーに映っていないので、そのまま発進する。
B. 窓から身を乗り出して、見える範囲だけ確認する。
C. ミラーでも目視でも親子が見えないので、運転席を降りて前方を直接確認する。
- 右折開始後、横断歩道右側に歩行者の影が一瞬見えた。
A. 右ミラーだけ再確認して曲がり続ける。
B. 身体を大きくひねって直接目視し、必要なら一時停止する。
C. クラクションを鳴らして歩行者に知らせる。

3 運転適性診断についての以下の文が正しければ○、間違っていれば×をつけてください。

- バイクや自転車を車体すれすれで追い抜く行為を繰り返すようなドライバーは、危険感受性が低いと言えます。 ----- ()
- 運転の動作が正確であっても、判断のタイミングが間違っていれば事故につながりかねません。 ----- ()
- 職業ドライバーは運転に慣れているので、「気持ちのだらかさ」や「他人に対する好意」の項目が低くても気にしなくて大丈夫です。 ----- ()